

本シンポジウムをよりよく理解頂くために、背景知識のレクチャーから開始いたします

企業現場のニーズと先端蛋白質科学との接点を探るシンポジウム

安定な
蛋白質医薬創製に向けた
先端科学からのヒント

日本にあります！
鶏卵を30分煮沸しても
ゆで卵にならない技術

敵と
思っていた
蛋白質凝集を
味方につける技

開催日

2016年11月16日 |水|

会場

東京大学・武田先端知ビル5F 武田ホール
〒113-8656 文京区弥生2-11-16

10:00~

開会

挨拶 廣田里香 アステラス製薬株式会社・バイオサイエンス研究所長

レクチャー

「蛋白質の溶解と凝集の基礎知識」
平野篤 産業技術総合研究所・ナノ材料研究部門・主任研究員

基調講演

「抗体創薬における物性問題と回避法」
津本浩平 東京大学・大学院工学系研究科・
バイオエンジニアリング専攻・教授

13:00~

講演

「蛋白質凝集テクノロジー」
白木賢太郎 筑波大学・数理物質系・准教授
「蛋白質凝集/可溶化制御タグを利用したバイオ医薬品製造法」
野中孝裕 味の素株式会社・バイオ・ファイン研究所
「天然変性蛋白質は別の蛋白質の凍結を保護する」
廣明秀一 名古屋大学・大学院創薬科学研究科構造分子薬理学分野・教授
「卵白蛋白質の底力 -凝集の食品分野への活用-」
半田明弘 キューピー株式会社・研究開発本部・プリンシパル・コーポレート・サイエンティスト
「アモルファス凝集とアミロイド線維の区別および疾患関連性」
後藤祐児 大阪大学・蛋白質研究所・教授
「蛋白質科学会の取り組み」
後藤祐児 日本蛋白質科学会会長

総合討論

司会 内山進 大阪大学・工学研究科・生命先端工学専攻・准教授

17:30~懇親会

参加費・懇親会費:無料
事前登録:不要

実行委員

白井宏樹 アステラス製薬株式会社・専任理事(代表世話人)
白木賢太郎 筑波大学・数理物質系・准教授
津本浩平 東京大学・大学院工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻・教授

主催:一般社団法人日本蛋白質科学会 共催:蛋白質工学研究会
協賛:株式会社ユーワークス
連絡先:一般社団法人日本蛋白質科学会事務局 電話:072-729-4125
メール:jimu@pssj.jp URL http://www.pssj.jp/

